

平成23年10月13日

札沼線(学園都市線)の電化開業時期について

札沼線(桑園・北海道医療大学間)電化事業について、国及び自治体からの助成を受けて実施している電化設備整備は今年度が完了年度であり、平成23年度末の完成に向け電化設備の工事を鋭意進めており、順調に進捗しています。

電化設備の整備完了後、電車の試運転など所要の準備を進めながら、一定程度の電車が投入可能となる平成24年6月に第一次電化開業し、さらに平成24年10月には全ての車両を電車に置き換え全面開業する予定です。

なお、開業日時・運行ダイヤなどの詳細については引き続き検討のうえ、具体的な内容が決まり次第あらためてお知らせします。

【電化開業時期(予定)】

○平成24年 3月 札沼線電化設備整備完了

○平成24年 6月 第一次電化開業

・札幌～北海道医療大学間の列車100本のうち7割程度を電車化

○平成24年10月 全面電化開業

・札幌～北海道医療大学間の全ての列車を電車化し時間短縮を図るなどのダイヤ改正を実施

札沼線電化事業の概要

1. 背景・目的

札沼線のうち札幌近郊区間である桑園・北海道医療大学間は沿線人口の増加等に伴い、年々鉄道利用者が増加しているところであるが、札幌圏で唯一の非電化区間であり、投入している気動車も老朽化が著しく、利用者からサービス改善を強く求められているところである。こうしたことから、札沼線のうち札幌圏輸送の使命を担う桑園・北海道医療大学間を電化することにより、札幌圏一体となった高速鉄道ネットワークを形成し、所要時分短縮、混雑緩和、冷房化率向上などのサービスのレベルアップを図るとともに、環境負荷の軽減及び経営の効率化を図る。

○これまでの主な取り組み

昭和57～61年	大学前(現北海道医療大学)、百合が原、あいの里教育大、新川、太平駅新設
63年11月	八軒駅新設
平成 3年 3月	札沼線の愛称名を「学園都市線」と定める
5年10月	札沼線(八軒～あいの里教育大間)複線化事業着手
6年11月	札幌～桑園間3線化
9年 3月	太平～あいの里教育大間地平複線化部分開業
12年 3月	桑園～新琴似間高架化及び八軒～あいの里教育大間複線化完成

○列車本数(札幌～北海道医療大学間)

S62年度：64本 → H23年度：100本(約1.6倍に増加)

○ご利用状況(最大断面輸送量)

S62年度：9,500人/日 → H22年度：25,000人/日(約2.6倍に増加)

2. 事業概要

1) 地上設備

- 工事区間 札沼線 桑園・北海道医療大学間 28.9km
(桑園・あいの里公園 15.1km)
(あいの里公園・北海道医療大学 13.8km)
- 工事概要 篠路変電所新設、電車線等電力設備新設、信号・通信設備改修等
- 工事期間 平成21年度～23年度
- 工事費 46億円(桑園・あいの里公園 35億円、あいの里公園・北海道医療大学 11億円)
- 事業スキーム(幹線鉄道等活性化事業費補助事業、補助対象事業費45億円)
 - ・事業主体 第三セクター 北海道高速鉄道開発(株)
 - ・国及び自治体からそれぞれ補助対象事業費の20%の補助金等を受け電化設備整備を進め、
完成後の設備を第三セクターが保有し、JR北海道に有償貸付

2) 車両(JR北海道負担)

- 車両費 85億円 新製車両42両等
※新製車両を含め、電車は札幌圏全体で共通運用の予定

(線路略図)

